

リ・ポーン

男と女・共にめざそう明日のうしく 男女共同参画をめざして

市市民活動課男女共同参画推進室 ☎内線1631

*「リ・ポーン」という名称は、「再生」という意味があります。「男^{ひと}と女^{ひと}が人間としての尊厳を大切に、共に生まれ変わる力を持つこと」また、「人の心を結びきずなは優しいリボンのようにでありたい」との願いが込められています。

10年の歩みをふりかえり、 ともに新しい“うしく”のまちづくりを目指して

牛久市男女共同参画審議会が池辺市長に意見書を提出

10月7日、牛久市男女共同参画審議会(村武修司会長)から、男女共同参画に関する意見書が池辺市長に提出されました。

この意見書は、市で「第2次男女共同参画推進基本計画」が平成25年度から策定されるにあたり、平成19年6月に市に提出した12の提言を基に、これまで行われてきた市の取り組みを振り返り、その成果と評価を見極め、課題を明らかにし、審議会でも何回も会議を重ねて出された意見を集約し、まとめたものです。



意見書を渡す村武会長(写真手前右)

出された意見は「子育て・教育関連」、「男女共同参画推進関連」、「企業・商工関連」、「高齢者関連」の4つの分野に整理し、現状と課題がまとめられています。仕事と生活の調和を推進し、全ての人々が心豊かに生き生きと暮らせる社会を市と市民とが一体となって目指していくために、この意見書の内容を今後の男女共同参画施策に生かしていきます。

「牛久市男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しました

今後の男女共同参画社会の実現のための基礎資料に

市では、平成25年度から稼動する「第2次牛久市男女共同参画推進基本計画」策定の足掛かりとするため、今年7月に市民意識調査を実施しました。

この調査は、市民の生活や労働の場における具体的な男女の格差や差別の実態を明らかにし、男性・女性それぞれの置かれている立場や環境の違いから市民ニーズが男女でどのように異なるかを見極めることで、男性・女性それぞれが市政に対して何を求めているか、前回(平成18年度)の調査からどのように意識が変わっているかを把握し、今後の市のまちづくりに反映させることを目的としています。市が男女共同参画社会の実現を目指して計画を作り、施策を推進していく上で、貴重な基礎資料となります。

〈主な調査項目〉

- (1)男女共同参画社会や家庭での役割分担について
- (2)男女が働くことについて
- (3)地域活動について
- (4)日常生活について
- (5)男女間の暴力について
- (6)市の施策・行政のあり方について
- (7)属性

調査実施期間 平成23年7月1日～29日

有効回収数 948票(男性421票、女性527票)

有効回収率 31.6%(男性28.1%、女性35.1%)

調査対象 市内在住の満20歳以上70歳未満の男女
各1,500人

標本の抽出 住民基本台帳からの無作為抽出

調査の方法 郵送調査法

回答をお寄せくださった市民の皆さん、ご協力ありがとうございました。皆さんの貴重なご意見・ご回答を年度内に報告書としてまとめるため、現在、集計・分析作業中です。報告書が完成しましたら、市役所2階市民活動課入り口にある「男女共同参画コーナー」に設置しますので、ぜひご覧ください。